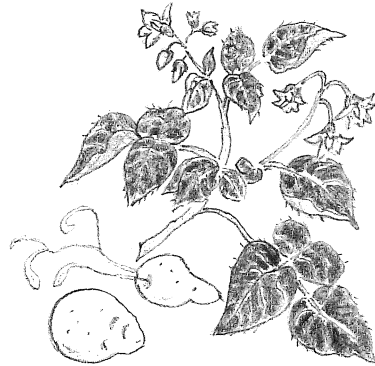


どころのない病原の正体と、それが増殖し寄主であるジャガイモに影響を及ぼす過程についてよく理解することであるが、その情報については未だ不完全であるのが実情である。この解明については、いま表面をさわりはじめたばかりといえよう。病原そのものが急に変わりつつあり、また気候の変動など、考えなければならない要因も加わってくるので、速やかな行動が必要である。いままであまり関心を寄せてこなかったような現象にも、注意を払わなければならないかもしれない。目標を達成するためには、これらの研究、解明に携わっている人たちの国境を越えての協力、そしてそれらの人々がジャガイモ生産現場の

問題点等につき、膚で理解、把握することが先ず必要である。



Solanum bombycinum

ジャガイモと映画

『エラゴン／遺志を継ぐ者』

農場で暮らす少年が森で不思議な青い石を発見…、というストーリーを読み、ひょっとするとジャガイモ畑も出て来るのではないかと、ジャガイモにこだわる私は試写会に出かけた。

幸運にもその予感が最初のほうで当たり、見事に揃ったジャガイモがたくさんついた映像が出てきた。舞台は人々の身につける服装から古代だが、何故か今よりも品種改良が進んでいて、素晴らしい出来ぐあいだった。そして「トウモロコシでもつくっていなさい」の言葉も出てきた。印刷機のなさそうな古代には不具合なりっぱな本も出てくる不思議な映画だ。

邪悪な王が支配する帝国アラゲイシアの辺境の農村に暮らす少年エラゴンは森で青く光

る石を見つける。これはドラゴンの卵で、卵から雌ドラゴンのサフィアがかえり、少年は伝説の種族、ドラゴンライダーとして選ばれることになっていく。彼をねらう邪悪な王ガルバトリックス王、その配下のダーサなどを相手に、歴史に詳しいブロム、ミステリアスなマータグらと力を合わせて過酷な試練にあいながら戦っていくもの。もちろん、最後はエルフ族の美しき王女アーリアを救出する。

2006年、アメリカのファンタジー・アドベンチャー映画。監督ステフェン・ファンクマイアー。主役の少年はエドワード・スペリーアス。ジェレミー・アイアンズ、ショーン・マルコビッチ外が出演する。

(いも類研究会顧問・浅間 和夫)